

ご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミック宣言から、早2年が経とうとしています。何の知見もない状況下からワクチンや飲み薬の開発がすすみ、一定の安心が担保されるようにはなってきましたが、新たな変異株の出現が心配される中、まだまだ人とウイルスの闘いは続きそうです。

“コロナ禍”という非日常は、私たちの生活を大きく変えることになりましたが、このような状況であっても、人々は現実に順応しつつ、一方で様々な創意工夫を凝らしながら新しい価値観を見出しています。人は困難に満ちた長い歴史の中でも、決して諦めず前を向いて歩み続けてきたのだと思います。

私たちにできること、それは現実のしんどさや不自由さを嘆くのではなく、共に明日への希望をもちながら「今何ができるか」を考え続けることなのかもしれません。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

令和4年 元旦  
社会福祉法人 高知小鳩会  
理事長 南 守